

北海道トレセンU-13冬季交流大会 Technical Report 2019

道北ブロックトレセンU-13

日時
2020年1月11日～12日

会場
札幌市スポーツ交流施設
「つどーむ」

- ・監督 田中 拓也
- ・コーチ 高橋 篤生
- ・コーチ 小田 啓太
- ・選手 那須 友貴
- 駒津壮一郎
- 北原 昊虎
- 上田 湊也
- 佐藤 瑠久
- 佐藤 絢
- 河野 匡志
- 小形 智哉
- 山下 藍夢
- 西里 有仁
- 高橋 旺助
- 佐々木涼汰
- 畑野 純成
- 小野 楓河
- 尾形 敦斗

大会結果

	札幌	道北	道東	道央	道南	U12	女子U-15	勝点	差	順位
札幌		1 - 3	3 - 2	6 - 1	11 - 0	9 - 3	11 - 1	15	31	1
道北	3 - 1		3 - 5	9 - 5	12 - 2	6 - 1	9 - 0	15	28	2
道東	2 - 3	5 - 3		7 - 2	10 - 2	4 - 1	9 - 1	15	25	3
道央	1 - 6	5 - 9	2 - 7		5 - 1	4 - 3	9 - 4	9	-4	4
道南	0 - 11	2 - 12	2 - 10	1 - 5		3 - 11	3 - 0	3	-38	6
U12	3 - 9	1 - 6	1 - 4	3 - 4	11 - 3		7 - 1	6	-1	5
女子U-15	1 - 11	0 - 9	1 - 9	4 - 9	0 - 3	1 - 7		0	-41	7

得点者

- v s 道央 (河野、北原、佐々木、山下、上田 3、佐藤瑠 2)
- v s 女子 (北原 2、小野、上田、河野 3、小形、佐藤瑠)
- v s U12 (佐藤、山下、小野、佐々木、高橋、上田)
- v s 札幌 (佐藤瑠 2、河野)
- v s 道南 (北原、上田、佐藤瑠 5、山下、河野 2、小形)
- v s 道東 (佐藤瑠、河野、北原)

大会レギュレーション

ピッチサイズ：縦60m×横44m

競技者の数：GKを含め8人

前後半で選手を入れ替え、選手のプレー時間を確保する
試合時間は50分（25分-5分-25分）



ゲーム総括

全試合、前・後半でメンバー総入れ替えをして戦った。
選手たちが立てた目標は全勝優勝。

そこで、サッカーの本質を追究。

「ゴールを奪う」

ゴール前に入っていく
ゴール前の落ち着き、大胆さ

「ゴールに向かってプレーする」

前に運ぶ（個人で、グループで）
数的優位を作る

「ゴールを守る」

ボールを奪う
危機察知能力、カバーリング、責任感

狭いピッチ（常にゴール前という状況）で、相手チームよりチャンスを多く作り得点すること、流れを相手に渡さないという点。相手チームの攻撃に対し、耐える、体をはる、絶対に失点しない、流れを取り戻すという点を確認し大会に臨んだ。

【成果】

GKが積極的にビルドアップに関わり、安定したポジションの中、ボールを動かしながらコンビネーションやサイドからの攻撃でチャンスを作ることができた。

前線から積極的にボールを奪いに行き、高い位置で優位にプレーすることができた。

【課題】

グループでのボール奪取の際、前線の選手のきり方が甘く、簡単にサイドチェンジさせてしまった。
相手のシステムや戦い方が違う時の対応力。

【まとめ】

タフな試合を続け、個人として、チームとして成長することができた。

あらためて日常の大切さ

- ・勝負にこだわった拮抗した試合
- ・サッカーの本質の追究がある環境
- ・試合の中での判断

を高める必要があるということを確認することができた。

技術戦術的分析

・コンサドーレ所属の選手がいない大会となり、各ブロックで、より多くの選手たちに経験を積ませることが出来た。

・出場チームに格差（レベル差）があった。

・札幌のボールポゼッションの質が高い。個の能力の高さ～止める、蹴る、受けるタイミング、動きながらのコントロールなど

・道東のフィジカル・テクニックの高さ。ストライカーの得点力は特筆すべきものがある。その選手から良い刺激を受けて、周りのレベルが高まっていたと感じた。

道北の戦い

今大会は、チームの完成度より、個の良さを最大限引き出し結果を求めて戦った。その結果、得失点差により惜しくも2位とはなったが、好成績で終わることが出来た。選手達は高いレベルの中で、対人する相手との闘い、グループでの戦術など、失敗と成功を経て、ゲームを終える毎に成長していったと感じる。

今回、選出されたメンバーはそれぞれが自分のストロングを発揮し、チームの勝利に貢献していたのは間違いない。しかし、他のことを要求された時、対応できる選手がどれほどいるかということ、まだまだ課題は残る。

自分の特徴を理解し、そこを高めることはもちろん、「引き出し」を増やし、更に良い選手へ成長することを期待している。

最後に・・・

今回の大会を通じて、快く選手を派遣していただきましたチーム指導者の皆様、保護者の皆様には大変感謝しております。

この経験を選手及び指導者のみなさまと共有し、今後もトレセン活動に取り組んでいきたいと思っております。

ありがとうございました。